

# History 新野左馬助親矩

キラリを再発見

特別編

## 新野左馬助家のその後 (東京都八王子市新野家)

新野左馬助親矩の死後、新野氏がどうなったか？下記のとおり、2つの資料が残っている。

彦根龍潭寺に保存されている「新野左馬之助家系図」によれば、親矩の子甚五郎は、小田原北条家へ逃れ北条家の家臣となり、豊臣秀吉の小田原攻めの際、籠城して戦死したとされている。

一方、東京都八王子市の新野家に残る家系図(写真下段参照)によれば、新野五郎道氏※は、武田氏の侵攻によって新野を離れ掛川城にこもった。永禄12年(1569年)、今川氏真とともに小田原北条家へ逃れ北条家の家臣となり、天正18年(1590年)6月23日、八王子城で討ち死にした。しかし、その子荒五郎は城中を逃れ、八王子新野家の祖となったとされている。

この家は、その後代々「与五右衛門」を名乗り、名主役と八日町宿の本陣を勤めた。与五右衛門家に残る「新野家文書」は、現在東京都八王子市の指定文化財になっている。

※新野五郎道氏=甚五郎

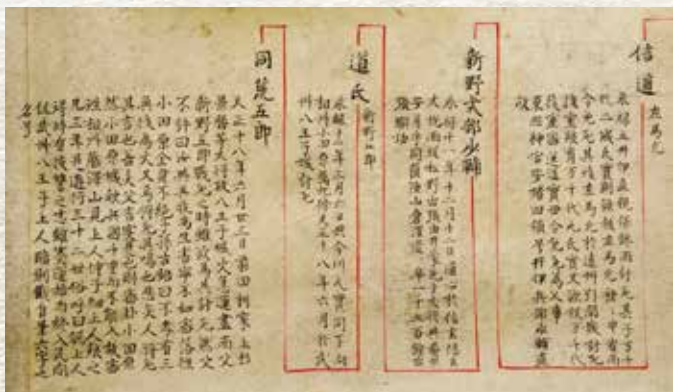
照会 社会教育課 ☎0548⑧1129



▲新野荒五郎氏の墓(八王子市)



▲新野五郎道氏の墓(八王子市)



▲新野左馬助家系図(新野哲雄氏蔵)

大河ドラマ「おんな城主 直虎」  
応援プロジェクト

# Atomic

暮らしと原子力

安全性向上対策工事の  
一部延長について

中部電力(株)は7月29日、浜岡原子力発電所4号機の原子力規制委員会による審査会合や、審査が先行する他社の発電所で進む新規基準の適合性審査内容などを踏まえ、4号機の対策工事の一部について工事を延長することとし、市と議会へ説明しました。

4号機の安全性向上対策工事は、地震・津波対策や重大事故対策などの主な工事は9月頃までに終了する見込みですが、原子力規制委員会が実施している適合性審査との関係もあり、一部の工事は9月以降も継続されることとなります。

なお、国の審査状況は、地震・津波・プラントに関する事項の審査を合計すると70回の会合を実施しており、今後審査が継続されることとなります。

倉田総合事務所長から説明



▲防波壁の設置(海拔22m)

を受けた柳澤市長は「中部電力においては、世界最高水準といわれる規制基準に適合するように、審査に真摯に対応していただくとともに、各種対策工事を確実にやり遂げていただきたい。また、市民の安心感が一層高められるよう、引き続き、安全性の追求と、市民への丁寧な説明に努めていただきたい」と話しました。